



○9名でスタート
2名の卒業生を送り出し、今年度は児童9名でスタートしました。少人数の学校なので遊ぶときはみんな一緒に、毎日元気に生活しています。

沼幌小の取組 ひとりぼっちを なくそう運動 いじめ根絶に向けた取組



○児童会代表委員会の取組み

昨年度は、いじめ根絶に向けた運動として「ひとりぼっちをなくそう運動」を行ってきました。

この運動は、相手に対する思いやりの心をより一層育てることを狙いとして、児童会が中心となり取り組んできました。本校児童会は、児童会二役（会長、書記）・各部長（学習部、保健部）・各学級代表で組織した「代表委員会」を毎月一回定例会議として開催しています。

この会議では、日常の学校生活について話し合いを行っています。その中で、休み時間や放課後にひとりぼっちで過ごしている子どもがいなか話し合います。ひとりぼっちの子どもがいる場合は、みんなで一緒に活動するための解決策を話し合い、出てきた解決策を全校児童で実践しています。現在、ひとりぼっちで過ごしている子どもがいないので具体的な活動はありませんが、すべての子どもたちが「みんなで一緒に活動しよう」とする意識を持つ

ことで、他の子どもへの気持ちを考えて行動がより一層見られるようになってきました。今年度も子どもたち自ら主体となつたいじめ根絶に向けた取り組みをしていきます。

○第二の校歌「ならの木」

毎年卒業式で歌われている「ならの木」の歌詞の一部を紹介いたします。数年前の卒業生が作詞し、当時の先生が作曲したオリジナル曲です。今でも子どもたちにとっても親しまれている歌で、子どもたちの心にしつかりと受け継がれています。

「ならの木」

ひとりぼっちの子がいたら
優しい笑顔で声をかけよう
みんなで一つのこと一緒にがんばれば
楽しくなるんだ君の笑顔で
笑顔になるんだ君の言葉
君がいてくれてよかった
たくさんのこと教えてくれた
大切な思い出も
君がいたからがんばれた
君に伝えたいんだありがとう
ひとりぼっちではできないこともあるけど
そんなときみんなでがんばれば
ばいばいさ
僕たちは青空に向かって伸びるならの木

文化バス追加募集のお知らせ

教育委員会では、芸術・文化の鑑賞事業として会場までの無料送迎バスを運行しています。

今回は「THE NEWSPAPER」鑑賞事業として文化バスを下記のとおり運行しますので希望の方は下記までご連絡ください。

■日時／6月1日(火)
●開場…午後6時30分 ●開演…午後7時

■場所／釧路市生涯学習センター

■運行日程／

行き 開発センター発（午後5時）
生涯学習センター着（午後6時）
生涯学習センター発（午後9時）
帰り 開発センター着（午後10時）

■募集定員／30名 ■申込締切／5月10日(月)

■入場料／4,500円（全席指定・税込）

※当日受付で徴収します

■申し込み／教育委員会社会教育課社会教育係
(☎485-2111内線288)

社会風刺コント集団
ザ・ニューズペーパー
THE NEWSPAPER

最強コント集団の、
ライブでしか見られない
ユーモアあふれる社会風刺!

花でいっぱいの町を目指して

標茶町花いっぱいコスモス推進会議

■問い合わせ/同会議事務局(役場企画財政課地域振興係 ☎485-2111 内線224)

開発センター前の花だん作り



同会議は、標茶高校の土地を借りてビニールハウスを建て、種の植え付け作業から苗の移植作業、苗の管理などを行っています。種の植え付け作業と移植作業には、標茶高校の生徒がボランティアとして手伝ってくれ、会員と生徒が二人三脚で花を植えてきました。

「自分たちの町の花くらい自分たちの手で咲かせよう」という町民からの掛け声の元、平成4年に「標茶町花いっぱいコスモス推進会議」は立ち上がりました。

に作業をすることで元気をもらい、また頑張ろうとする意欲が湧いてきます」と笑顔で話す平川昌昭会長。

昨年は、マリーゴールド、ペチュニア、サルビアなどを栽培し、成長した苗は開発センターや駅前・町内の花だんなどに植え、道行く人からは「毎年元気な花を見て心が和む」という声がよく聞こえてきます。また、同会議主催である初心者ガーデニング講習会の教材として利用するなど町を花いっぱいにする取り組みを行ってきました。

「これからも町を明るくするために元気な花を作り続けたい」と会員みなさんが語ってくれました。また、同会議では会員を募集しており、「花に興味のある方は気軽に参加してください」とのことです。

初心者ガーデニング講習会



みんなの作品展

文芸作品

川柳 (標茶川柳の会)

- 夫婦して内緒内緒のものがあ
伊原 哲
- いま鬼は地獄を捨てて婆婆に棲む
山井 幸枝

俳句 (標茶菱の実吟社)

- 彼岸入り予期せぬ吹雪しむ郷
若林 鶴代
- 山笑う一筆箋での一言
加藤たかと

短歌 (自生林短歌会)

- 縁ありて結ばれし息子親となり
渡辺真知子
- 幼子の毎日届くメールから
大山 弘子
- 元気でいるよ歌声もあり
安藤 正男
- 結氷の緩みし岸辺の塘路湖に
群なす鹿の食むや草の根

絵手紙の会



箱崎 悦子さん(旭)の作品



酒井 ヒサさん(旭)の作品